

授業No.4

T.Q.「ソフィストの功罪とは？」

教科書P.29～

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書P.29～30

T.Q.「ソフィストの功罪とは？」

1. アテネ
2. 職業教師
3. 相対主義
4. プロタゴラス
5. 道徳

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. 哲学の誕生＝自然哲学
2. 自然哲学者たちと万物の根源
3. ソフィストの登場とその十一面

二章 源流思想 1 ギリシア思想

① 古代ギリシア cf.哲学以前...世界を神話で説明 ※1①②

(1) 最古の哲学 = 自然哲学

...アルケーを探究する

※2

T.Q.「ソフィストの功罪とは？」

教科書P.29～

万物の根源

∴ B.C.6・5C(世紀)、ポリスの安定で生活にゆとり

都市国家

1 アルケーそのもの

a タレス__水 b ピタゴラス__数 ※3

c デモクリトス__アトム(原子)

2 アルケーの在り方

...ヘラクレイトス__火 cf.「万物は流転(るてん)する」

3 ロゴスにもとづく合理的な態度を重視 ※5

理性

1/2枚目のスライドはここまで！

2 アルケーの在り方

...ヘラクレイトス__火 cf.「万物は流転(るてん)する」

3 ロゴスにもとづく合理的な態度を重視 理性

————— ここから

(2) **ソフィスト**の哲学...人間について but 相対的で主観的

∴ B.C.5C、アテネの民主政が全盛

ex. **プロタゴラス**__「人間は万物の尺度」

各人 物のさし ※6

cf. 各人の主観が衝突→**弁論術**の発達 ※7①②

∴ { 一面＝「職業教師」、「詭弁(きべん)を弄(ろう)する者」
+面＝論理的思考が重視

[※T. A. まとめスライドへ](#)

最後のスライドはここまで！

T.Q.「ソフィストの功罪とは？」 教科書P.29～

3 オリンポス12神

青字=男神 赤字=女神

ギリシア名	ラテン名 (英語読み)	属性
ゼウス	ジュピター	主神。神々および人間の父。天と雷・風雨を支配
ヘラ	ジュノー	ゼウスの妻。天界の女王 結婚・生産の神
ポセイドン	ネプチューン	海の神
ヘスチア	ヴェスタ	かまどと家庭の女神
デメテル	セレス	農業と土地の女神
アレス	マールス	戦いの神
アポロン	アポロ	太陽・芸術の神
ヘファイトス	バルカン	火の神
ヘルメス	マーキュリー	商業の神
アテナ	ミネルヴァ	アテネの守護神・知恵の女神
アルテミス	ダイアナ	月と狩猟の女神
アフロディテ	ヴィーナス	美と愛の女神



↑ゼウス

↓ディオニソス
(バッカス)



アルテミシオンの
ポセイドン アルテ
ミシオンの沖合いで
魚の網にかかって発
見された前5世紀中
頃の青銅像。



※1①

next

クリック①:

主神の
ゼウス

クリック②:

アテネの
守護神
アテナ

※1②back

クリック①:
イラスト

クリック②:
東日本大震災の際の
石原慎太郎東京都知事
(当時)



「大震災は天罰」
「津波で我欲洗い落とせ」

(2011年3月14日
19時34分付ニュースより)

その昔、自然（世界）はすべて神話（ミュトス）によって理解されていま
した。たとえば、自然災害は神の怒りであると考えられていたのです。

クリック①と②で説明 **Q. あなたはどちらだと思いますか？**

①



タレスはアルケーを水と考えた

②

※2

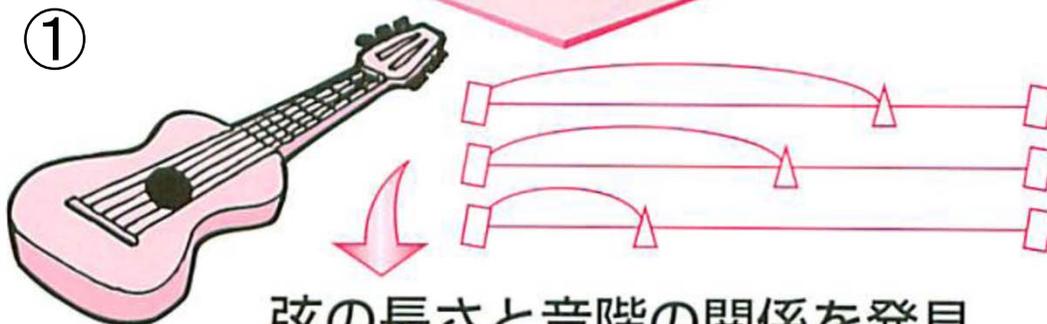


デモクリトスはアルケーを原子と考えた

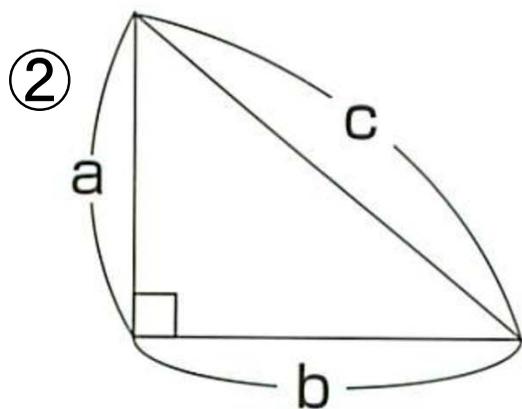
ピタゴラスの提唱

万物は数である

※3



クリック①～③で、
説明



ピタゴラスの定理

$$a^2 + b^2 = c^2$$

$$c = \sqrt{a^2 + b^2}$$

√ の発見

③

輪廻転生



※4

Q.  ヘラクレイトスは「人は同じ川に2度入ることはできない」と言います。
この言葉は何を意味するのでしょうか？

クリックで、A.

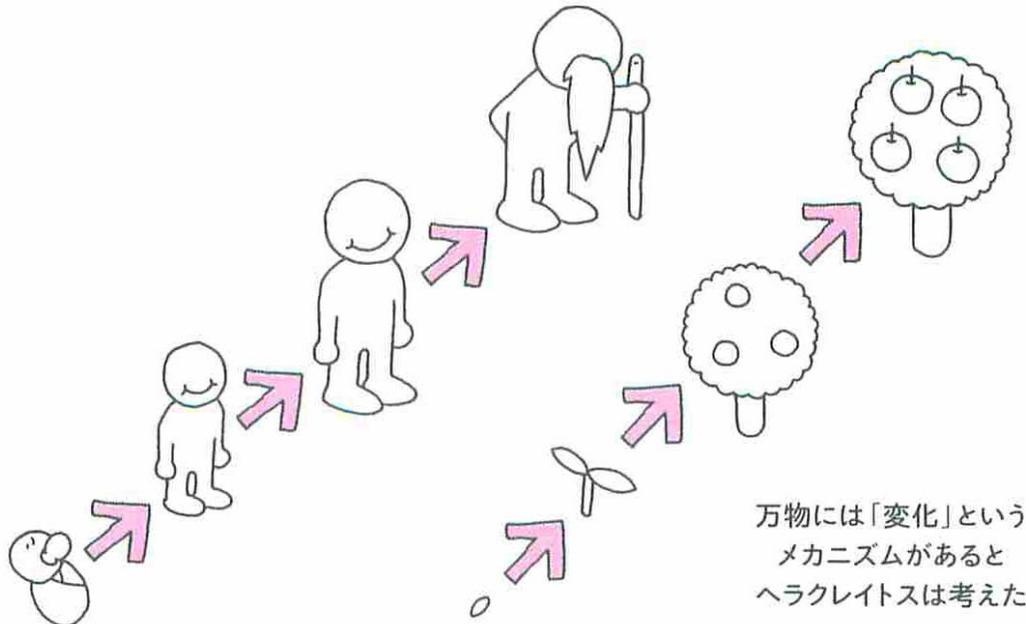



昨日入った川

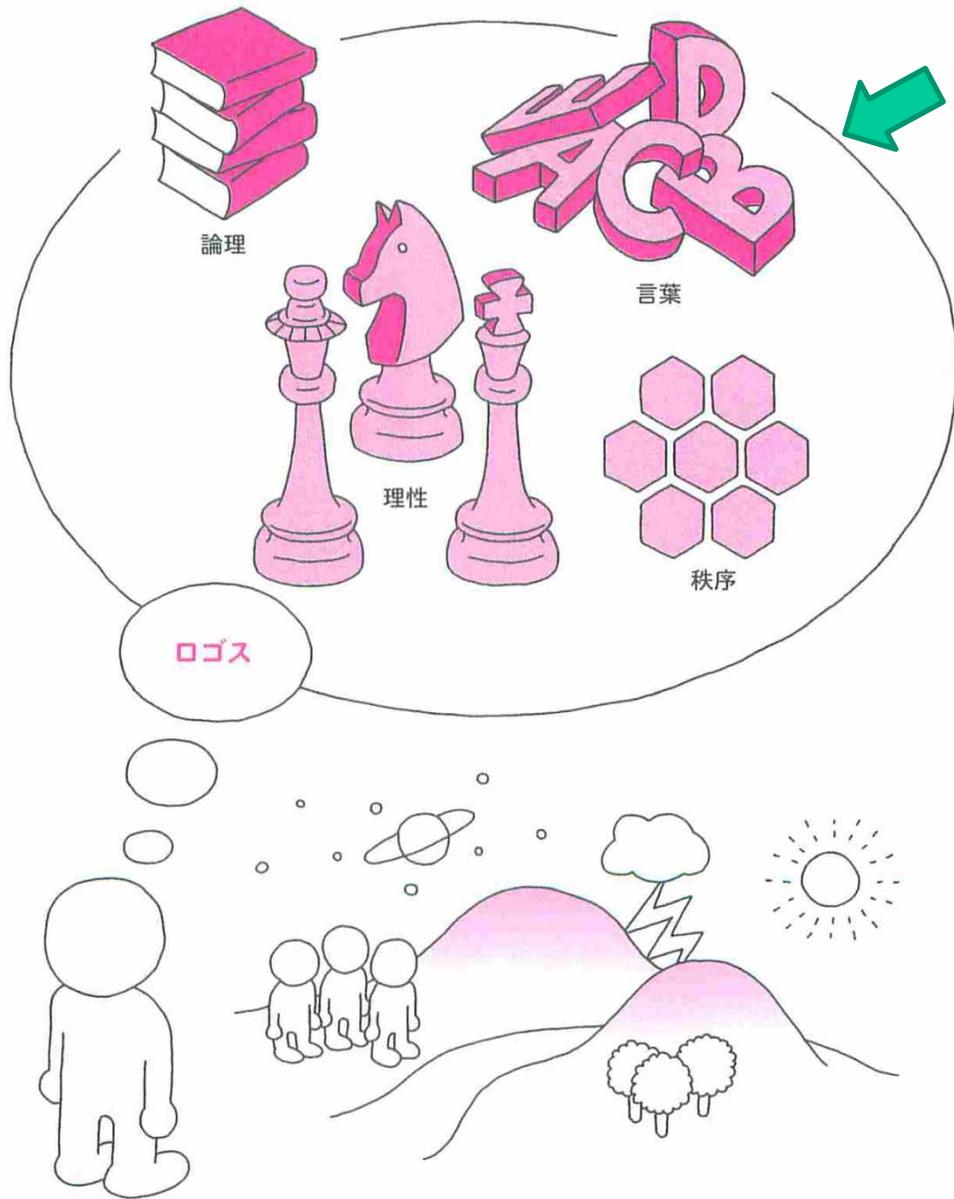


今日入った川

流れる川だけでなく、人も物も世界はたえず変化しています。ヘラクレイトスはアルケー(P028)を考えるだけでなく、万物は流転する (パンタ・レイ) というメカニズムがあることを発見したのです。



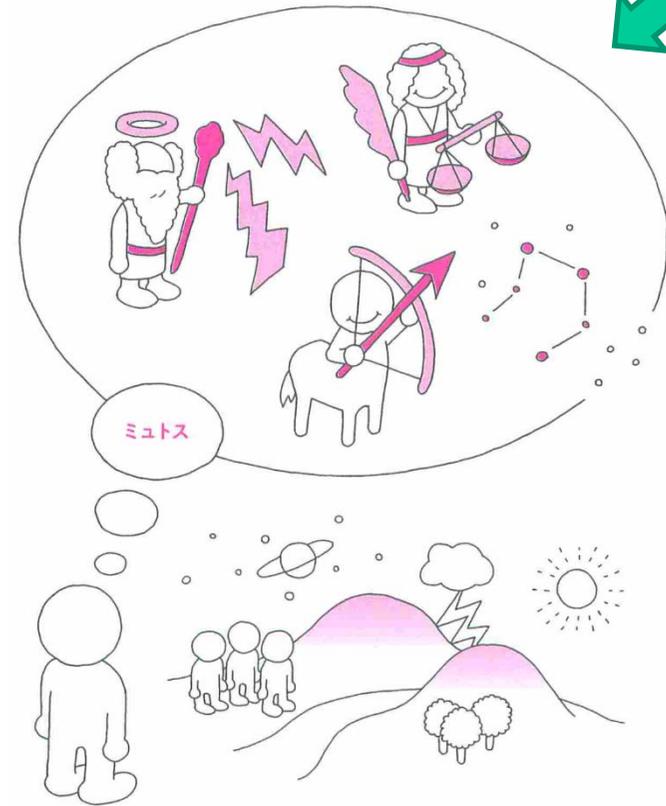
万物には「変化」というメカニズムがあるとヘラクレイトスは考えた



合理的な
ものの見方・考え方

※5

神秘的(神話に基づく)
ものの見方・考え方



ギリシアの哲学者は自然をミュトス(P024)ではなく合理的な考え方(ロゴス)によって理解しようとしていました。

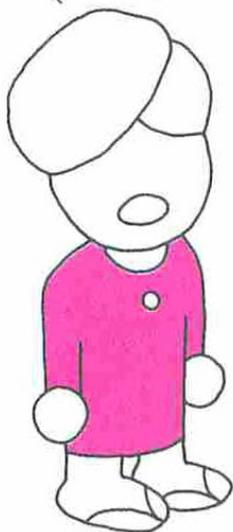
クリック①で、イラスト→②で哲学以前と比較

この場合の
「人間」とは
「動物」に対して
「人間」という
意味ではないので
注意!

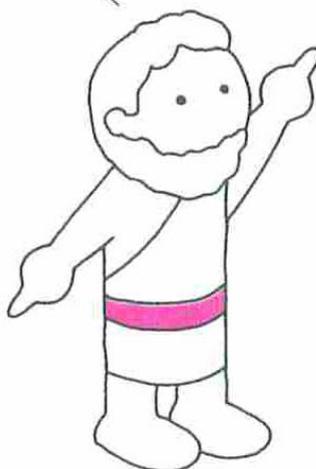
どちらも
本当のことを
言っている。

人間は
万物の尺度
!

日本は
寒い!



インド人
(暑い国の人)



プロタゴラス

日本は
暑い!



ロシア人
(寒い国の人)

※6

クリックで、
イラスト

日本は日本より寒い国の人にとっては暑く、暑い国の人にとっては寒い国です。

市民の台頭とソフィスト

※7①

next

ソフィストの登場

古代ギリシャの
政治形態

王政

↓
貴族政治

↓
民主政治

強国ペルシャとの戦争で市民軍が活躍したことから、一般市民の声が政治的に強くなる。

クリック①・②で、
説明



ポリスの市民たちに弁論術や基礎的教養を教える知者＝ソフィストが現れた。

クリックで、ソフィストが相対主義を主張した理由

※7②
[back](#)

人間を中心とする相対主義



諸国を見聞していたソフィストは、地方によって価値観が多様であることを知っていた。

プロタゴラス

「人間は万物の
しゃくど
尺度である」

善悪の判断やどんな制度を選ぶのかも自分たち次第であると考えた。

倫理 授業No.4

T.Q.「ソフィストの功罪とは？」

紀元前5世紀の都市国家アテネ全盛のころ、「知恵ある人」としてソフィストと呼ばれる人々が活躍した。彼らは相対的で主観的であり、金もうけを目的とした“政治屋”が生まれる原因となった。また、代表的ソフィストのプロタゴラスは各人の考え方(価値判断)をすべて肯定したので、それぞれの主観が衝突するようになった。しかし、そのおかげで弁論術が発達し、論理的思考が発達した。